REQUIREMENTS

要件定義書（抜粋・見本）

サンプル工業株式会社さま　受注・工程管理システム

版	1.0
作成	株式会社オーバーエックス
承認	サンプル工業株式会社 製造部長

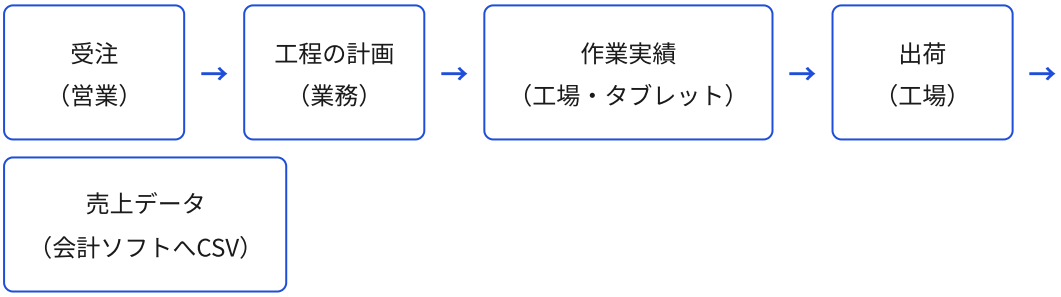
この見本について

オーバーエックスがお渡ししている成果物の形式をお見せするための見本です。会社名・人名・数値・内容はすべて架空で、実在の会社やシステムとは関係ありません。実際の要件定義書は30〜80ページ程度です。この見本では主な章を抜粋しています。

1. システム化の目的と範囲

項目	内容
目的	受注から出荷までの情報を本社と工場で共有し、連絡の手間と伝達ミスをなくす。Accessの属人化とファイル破損のリスクを解消する
対象業務	受注登録、工程の計画と実績、出荷、納期の回答
対象外	会計（既存の会計ソフトを継続）、給与、購買（第2段階で検討）
利用者	本社 営業・業務 8名、工場 作業者 25名（タブレット6台）、管理者 2名
稼働目標	20XX年X月（繁忙期を避け、月初に切り替え）

2. 業務の流れ（新しい流れ）



3. 機能要件（抜粋）

ID	機能	内容	優先度
F-01	受注登録	取引先・品目・数量・希望納期を登録。取引先ごとの単価を自動で表示	必須
F-02	受注の取り込み	主要取引先2社のCSVを取り込み、確認画面を経て登録	必須
F-05	工程の計画	受注から工程（切断・加工・検査・梱包）を自動で作成し、日ごとに割り当て	必須
F-08	作業実績の入力	タブレットで工程の開始・終了・数量・不良数を入力。バーコードで受注を選択	必須
F-12	納期の回答	受注ごとに工程の進み具合と完了予定日を表示	必須
F-15	帳票	注文請書、作業指示書、出荷明細、月次の受注実績	必須
F-20	会計連携	月次の売上データを会計ソフトの取込形式でCSV出力	第2段階

4. 業務ルール（抜粋）

ID	ルール	確認者
R-03	取引先区分「特注」の受注は、工程の計画に製造部長の承認が必要	製造部長
R-07	単価は取引先ごとの単価表を優先し、なければ品目の標準単価を使う	営業課長
R-11	不良数が数量の5%を超えた工程は、検査工程で再検査の指示を出す	品質担当
R-14	締め日は月末。月末の出荷は翌月1日の朝9時まで当月扱いで登録できる	経理担当

5. 非機能要件（抜粋）

項目	要件
利用環境	PC（Chrome・Edge）、タブレット（iPad、工場内Wi-Fi）
性能	一覧画面は3秒以内に表示（受注データ5年分を想定）
可用性	平日8時〜20時の利用。夜間のバックアップと、障害時は翌営業日までに復旧
セキュリティ	利用者ごとのアカウント、権限（営業・業務・工場・管理者）、操作の記録、通信の暗号化
データ移行	Accessの受注・取引先・品目データ（直近5年分）を移行。件数と金額の合計を突き合わせる